

2014 第5回 全道地区選抜フットサル大会

開 催 要 項

- 1, 主 催 一般社団法人北海道フットサル連盟
- 2, 主 管 NPO法人 札幌フットサル連盟
- 3, 特 別 協 賛 (株)ミカサ
- 4, 期 日 平成26年10月11(土)・12(日)
- 5, 会 場 北海道立野幌総合運動公園体育館 住所 江別市西野幌481番地
TEL 011-384-2166
- 6, チーム数 9チーム (予定)
- 7, 参 加 資 格
 - 1) 各地区フットサルリーグに加盟する複数のチームから選抜された選手により構成されたチームであること。
 - 2) 2014年度公益財団法人日本サッカー協会のフットサル登録を完了し、道内に所在地を有している16歳以上(ただし高等学校在学中の選手はこの年齢制限を適用しない)の選手により構成されたチームで有ること。
 - 3) 第1~2項に定めるチームには1チーム4名までの外国籍選手の登録を認める。
なお、外国籍選手はピッチ上に2名を超えて同時にプレーすることはできない。
ただし、当該外国籍選手は、IFTC(国際フットサル移籍証明書)により移籍が完了し、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格を取得している者とする。
 - 4) 公益財団法人日本サッカー協会のフットサル選手証(写真貼付されたもの)を持参していること。
持参していない場合には、当該試合の出場を認めないことがある。
 - 5) **1チームあたり最低3名の23歳以下の選手(1991年4月2日以降に生まれた者)を含むこと
また、ピッチ上に必ず23歳以下の選手が1名いることとする**
- 8, 競 技 会 規 則 本年度公益財団法人日本サッカー協会制定の「フットサル競技規則」による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。
 - 1) 使用球は、フットサル用ボールとする。
 - 2) ピッチサイズは原則として 40m×20mとする。
 - 3) 交代要員の人数は、10名以内とする。
 - 4) ベンチに入ることのできる人数は、14名以内(交代要員10名以内、役員4名以内)とする。
 - 5) 競技者のシューズは、靴底の接地面が飴色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズ(ノンマーキング表示可)のみ使用可能とする。また、前述のシューズ以外の着色ノンマーキングシューズ及びスパイクシューズは認めない。
 - 6) 試合時間は予選リーグ24分間(前後半12分間インターバル3分間)のプレーイングタイムとする。決勝トーナメントは30分間(前後半15分間インターバル5分間)のプレーイングタイムとする。
交流戦については 8分-2分-8分のプレーイングタイムとする。
 - 7) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
 - ①予選リーグは引き分けとする。
 - ②決勝トーナメントにおいて勝敗が決定しない場合はPK方式により勝敗を決定する。
PK方式は 9-5⑥)と同様とする。
 - ③決勝戦においては10分間(前後半各5分)のプレーイングタイムの延長戦を行い、決定しない場合はPK方式により勝敗を決定する。PK方式は 9-5⑥)と同様とする。
 - ④延長戦に入る前のインターバルは5分間とする。
 - ⑤PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
 - 8) 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
 - 9) 予選リーグにおける警告1回は、決勝戦には持ち越さない。
 - 10) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律・フェアプレー委員会にて決定する。

9. 競技方法
- 1) 予選リーグ及び決勝トーナメントにて実施する。
 - 2) 参加チームを2グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ1位チームと2チームの4チームにより決勝トーナメントを行う。
決勝トーナメントの組み合わせは 別表の組み合わせ表とする。
決勝トーナメントへ進出しないチームは別表組合せとおりトーナメント戦を行う。
 - 3) リーグ戦の勝ち点は、勝=3、引き分け=1、負=0とする。
 - 4) リーグ戦における棄権試合(不正が確認された場合も含む)は、0-5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
 - 5) リーグ戦の順位は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ①当該チーム間の対戦成績
 - ②当該チーム間の得失点差
 - ③当該チーム間の総得点数
 - ④グループ内での総得失点差
 - ⑤グループ内での総得点差
 - ⑥PK方式(PK方式は1チーム5名による5本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまでおこなう。)により決定する。
10. 参加申込み
- 1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名、役員6名までとする。
 - 2) 参加申込書は、所定の申込書(Excel)にて必要事項を記入し、期日までに所属地区連盟より申込先へE-mailにて送付すること。
 - 3) 参加料 25,000円(消費税込み)は申込みと同時に申込先へ納入すること。
 - 4) 申込締切日 平成26年10月1日(水)17:00必着
 - 5) 申込先 NPO法人札幌フットサル連盟
E-mail : nposff@gmail.com
 - ・参加申込書(E-mail) (フットサル選手登録番号を必ず記載のこと)
 - ・プライバシーポリシー同意書(E-mail)
 - ・大会参加料振込口座
北洋銀行 札幌営業部 普通預金 No3148177
特定非営利活動法人 札幌フットサル連盟 事業費
財務担当 八木田 茂人
11. 問い合わせ先
- NPO法人 札幌フットサル連盟
櫻井 雄治(サクライ ユウジ)
TEL : 090-2878-3857
E-mail : qqun6tm9k@bird.ocn.ne.jp
12. 帯同審判及びオフィシャル
- 1) 今大会には帯同審判員制は取らない。
13. 選手変更届け
- 1) 参加選手の変更・追加(3名を上限)及び役員の変更・追加については、所定の用紙(変更追加届用紙)に記入し大会初日の7日前(17時)までに地区連盟から申込先宛にE-mailにて送信すること。なお、これ以降の変更は認めない。

- 14, ユニフォーム
- 1) (公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」を遵守すること。
 - 2) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は正のほかに副として正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること。
(フィールドプレーヤー・ゴールキーパーとも)
 - 3) チームユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。
 - 4) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。また、ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。なお、選手番号については1から99までとの整数とし、0は認めない。
 - 5) 必ず本大会参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - 6) フィールド競技者がゴールキーパーと入れ替わる場合、競技者が着用するゴールキーパーのジャージには、その競技者自身の背番号をつけること。
 - 7) ユニフォームの色・選手番号の変更は参加申込〆切日以降認めない。
 - 8) ユニフォームへの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみ認める。
 - 9) その他の事項については、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に則る。
- 15, 組合せ
- 1) 組合せは、(一社)北海道フットサル連盟において抽選し決定する。なお、組合せ結果は(一社)北海道フットサル連盟の公式ホームページにて確認すること。
<http://www.futsal.jp/>
- 16, 監督会議
- 1) 日時 10月 11日(土) 午前9時30分から
会場 北海道立野幌総合運動公園体育館会議室
- 17, 開会式
- 1) 日時 10月 11日(土) 監督会議終了後
 - 2) 会場 北海道立野幌総合運動公園体育館
- 18, 表彰及び表彰式
- 1) 優勝・準優勝には表彰状を授与する。
 - 2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場で行う。
- 19, 負傷及び事故の責任
- 1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが行うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
 - 2) 選手は、スポーツ傷害保険または、それに準じた保険に加入していること。
- 20, その他
- 1) 各試合競技開始時間60分前(ただし第一試合は試合開始20分前)に運営スタッフ、両チームの代表者(監督)及び審判員とマネージャーズミーティングを行う。マネージャーズミーティングにおいて、両チームのユニフォームの決定、メンバー提出用紙の回収JFAフットサル選手登録証の確認、諸注意事項の説明を行う。
 - 2) 参加チームは、フットサル選手証(JFA新キックオフより顔写真データをアップロードし、電子登録証を印刷すること。電子登録証は顔写真の無いものは無効となります。)を必ず持参すること。なお、電子登録証が確認できない場合は出場できないので注意すること。
 - 3) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
 - 4) 交代要員は、交代の直前を除きユニフォームと異なるビブスを着用すること。
(ビブスは各チーム用意すること)
 - 5) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。
中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
 - 6) 競技期間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。